

会社概要

2014年9月30日現在

商号 テクノホライゾン・ホールディングス株式会社
(英文名: TECHNO HORIZON HOLDINGS CO., LTD.)

資本金 25億円
従業員数 8名 (連結1,204名)

設立 2010年4月1日

主要子会社

事業内容 テクノホライゾングループの事業内容は「光学事業」と「電子事業」に分類され、テクノホライゾン・ホールディングス株式会社は傘下の事業会社の経営管理を行っております。

光学事業	株式会社エルモ社 株式会社S UWAオプトロニクス
電子事業	株式会社タイテック 株式会社中日電子 株式会社グラフィン

所在地 〒457-0071
愛知県名古屋南区千電通(チカマトオリ) 二丁目13番地1
TEL. 052-823-8551 (代)

代表者 代表取締役社長 野村 拓伸

ホームページ <http://www.technohorizon.co.jp>

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

テクノホライゾングループ平成27年3月期第2四半期(2014年4月1日から9月30日まで)の中間報告書をお届けするにあたりましてごあいさつ申し上げます。

当第2四半期連結累計期間では、光学事業分野における事業構造改革として、大量生産主体から、高付加価値・中少量の適正規模な生産体制を構築する等、経営体質の改善に努めております。その結果、当社グループの業績は、売上高9,991百万円(前年同四半期比17.9%減)、営業利益206百万円(前年同四半期は営業損失339百万円)、経常利益169百万円(前年同四半期比739.6%増)となりました。四半期純利益は83百万円(前年同四半期は四半期純損失568百万円)となりました。

なお、今後も光学事業分野について更なる事業構造改革の実効性を高めるべく活動を進めてまいります。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

①光学事業

前連結会計年度、主力事業としてきたプロジェクター用光学ユニット事業において、国内大手プロジェクターメーカーのプロジェクター事業からの相次ぐ撤退並びに縮小の影響を受け、大幅な売上落ち込みが余儀なくされるも、今までの大量生産型体制から規模の適正化をはかり、これまで培ってきた光学技術を活かして「多品種・高品質・高付加価値」のビジネスへと転換を進めております。

もう一方の主要ビジネスである書画カメラ事業は、主力の米国市場において成熟化が進み、前連結会計年度での需要は大幅な低迷を示すも、下げ止まり感も見えてきました。また、欧州・ロシア等、他市場での需要は堅調にあり、新興国を含めた新たなグローバル市場の開拓、販路の拡大をはかり、市場シェア確保に努めております。

これらの結果、光学事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は6,251百万円(前年同四半期比24.3%減)、営業利益は73百万円(前年同四半期は営業損失559百万円)となりました。

②電子事業

電子事業においては、主力事業であるFA関連機器が、国内景況感の回復と新興国の旺盛な需要に基づき、国内機械メーカーからの受注を順調に伸ばしました。また、FA中国現地法人も日系企業との取引に加え、現地企業との取引も増加しました。一方で携帯電話/スマートフォン用カメラモジュール検査装置が投入スケジュールの後ろ倒し等もあり当初計画を下回りました。また、開発投資も積極的に行った結果、電子事業における当第2四半期累計期間の売上高は3,739百万円(前年同四半期比4.2%減)、営業利益は115百万円(前年同四半期比57.5%減)となりました。

当社グループの特徴は「オプト(Optics:光学)」と「エレクトロニクス(Electronics:電子)」両分野の最新テクノロジーを広くカバーしていることであり、それが最大の強みとなっております。私共は今後、グループ事業会社が保有する開発力、市場ノウハウ、チャネルを融合し、注力している「教育」「FA」「医療」「安全・余暇」市場に向けてグループシナジー(2つ以上の要素を結びつけて、相乗効果を出すこと)を強化・深化し、新商品開発並びに営業活動を更に積極的に推進してまいります。

株主の皆様には引き続きテクノホライゾングループへの変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役社長 野村 拓伸

テクノライゾングループの動き

光学事業

エルモ社：教室用無線アクセスポイント

教育

学校などの教室で、配線なしでモバイル書画カメラや複数のタブレットを同時に使うことができるようになる無線アクセスポイント（愛称：つながるもん）です。教育現場においてネットワークなどの配線を減らすことができ、IT機器を便利に使える環境が実現できます。



エルモ社：360°パノラマカメラシステム

安全
余暇

QBiC Panoramaは、最大画角185°の超広角レンズを搭載し、簡単に上下180°左右360°のパノラマ動画を撮影するカメラシステムです。高精細レンズにより全方位の高画質映像をお楽しみいただけます。



QBiC Panorama

エルモ社：列車用ネットワークカメラユニット

安全
余暇

新興国では鉄道等のインフラ整備が進んでおり、列車内のセキュリティの関心も高まっております。低温から高温まで強い耐環境特性を持つ高画質の列車用のネットワークカメラです。



エルモ社：12倍ズーム高画質監視カメラモジュール

安全
余暇

高画質監視カメラモジュールと当カメラモジュールを使用したカメラユニットです。

安全に対するニーズの高まりから監視カメラの需要は広まっており、高倍率・高画質カメラモジュールを開発しました。



SUWAオプトロニクス：医療検査装置用光学ユニット

医療

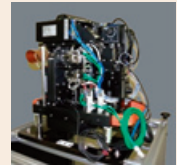
医療現場で使われている検査装置の重要な部分をなし、レーザー光を楕円形状に形成して照射し人体の状況を測定します。



SUWAオプトロニクス：半導体製造露光装置用光学ユニット

医療

半導体を生産するための露光装置用の光学ユニットです。半導体をより安価且つ短時間で小ロットでの生産が可能になります。

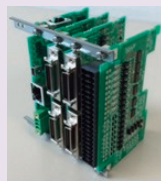


電子事業

タイトック：パルス列ステッピング多軸コントローラ

FA

FA設備やディスペンサー（液体定量吐出装置）などの制御に使う多軸コントローラです。複数のモーターの回転角度と速度を同時に正確に制御します。



タイトック：ブラシレスモーター制御基板

FA

工作機械メーカーに供給しているブラシレスモーター制御基板です。センサーの代わりに電圧をコントロールすることでモーターを制御します。センサーが不要となることで低コスト化が図れます。



タイトック：基幹システム事業がスタート

FA

タイトックが培ったERP導入ノウハウにSUWAオプトロニクスのERP事業を統合し、2015年1月1日より基幹システム事業がスタートします。今後、お客様向けへ海外大手基幹システムであるSAP及びインフォアのERPシステムについて導入・運用維持メンテナンスを戦略的事業の柱として活動してまいります。

ファインフィットデザイン：IPインターフォンシステム

安全
余暇

インターネット回線を利用した集合住宅向けインターフォンシステムです。10.1インチの大型液晶で見やすく、タッチパネルで簡単な操作が可能です。インターネット回線を利用している為、集中管理や遠隔地での受け答えが可能です。



中日電子：近赤外光による医療用測定ユニット

医療

近赤外光は、X線や赤外線とは違って、人体に照射されてもほとんど悪影響がないことで知られています。近赤外光の反射率を利用して、血液の酸素飽和度や赤血球の割合を測定する装置に用いられています。



中日電子：二酸化炭素ガス分析ユニット

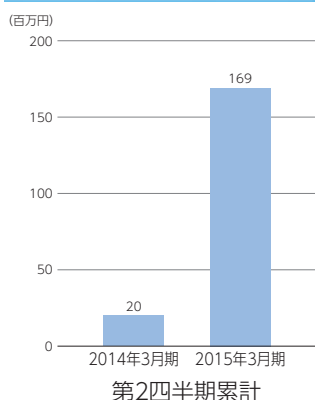
安全
余暇

赤外線の特徴波長を検出することにより、二酸化炭素ガスなどを感知・分析することができるユニットです。

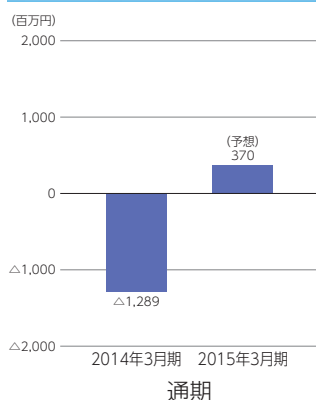


連結業績ハイライト

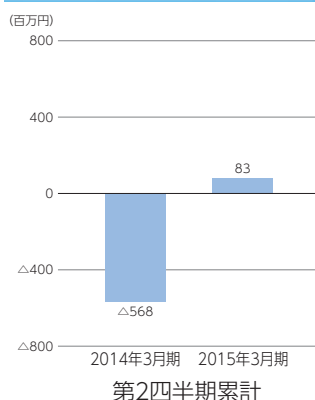
経常利益又は経常損失 (△)



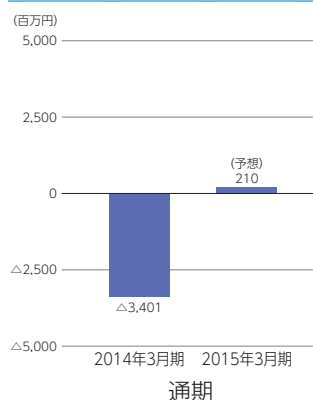
経常利益又は経常損失 (△)



純利益又は純損失 (△)



純利益又は純損失 (△)



第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	第2四半期末 2014年9月30日
資産の部	
流動資産	17,203
固定資産	8,041
資産合計	25,244
負債の部	
流動負債	17,184
固定負債	2,723
負債合計	19,908
純資産の部	
株主資本	5,086
その他の包括利益累計額	161
新株予約権	13
少数株主持分	74
純資産合計	5,336
負債純資産合計	25,244

第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	第2四半期累計 自2014年4月1日 至2014年9月30日
売上高	9,991
売上原価	7,474
売上総利益	2,517
販売費及び一般管理費	2,310
営業利益	206
営業外収益	71
営業外費用	108
経常利益	169
特別利益	87
特別損失	21
税金等調整前四半期純利益	235
法人税等	147
少数株主損益調整前四半期純利益	87
少数株主利益	4
四半期純利益	83

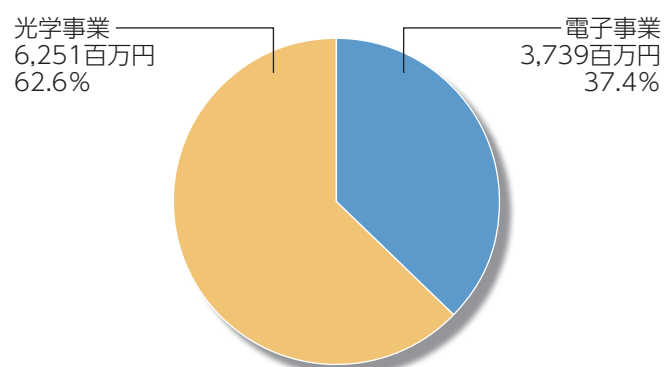
第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	第2四半期累計 自2014年4月1日 至2014年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,138
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,137
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36
現金及び現金同等物の増減額	△85
現金及び現金同等物の期首残高	2,377
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,292

事業別売上高構成

売上高 9,991百万円



株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数	21,063,240株
株主数	4,202名

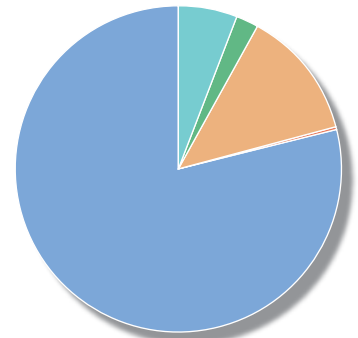
大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
有限会社野村トラスト	1,480	10.98
有限会社野村興産	585	4.34
日本証券金融株式会社	563	4.18
テクノホライゾン・ホールディングス従業員持株会	428	3.18
IDEC株式会社	404	3.00
榑 泰彦	295	2.20
第一生命保険株式会社	290	2.15
株式会社大垣共立銀行	264	1.96
株式会社SBI証券	240	1.79
榑 信之	236	1.76

(注) 1. 当社は、自己株式7,585千株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別状況

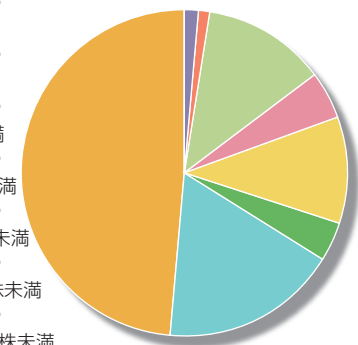
金融機関	1,251千株	5.94%
金融商品取引業者	471千株	2.24%
国内法人	2,678千株	12.71%
外国法人等	86千株	0.41%
個人・その他	16,575千株	78.70%



(注) 自己株式7,585千株は、「個人・その他」に含めて記載しております。

所有数別状況

100株未満	6千株	0.03%
100株以上～500株未満	310千株	1.47%
500株以上～1,000株未満	245千株	1.17%
1,000株以上～5,000株未満	2,539千株	12.06%
5,000株以上～10,000株未満	1,039千株	4.93%
10,000株以上～50,000株未満	2,185千株	10.37%
50,000株以上～100,000株未満	820千株	3.90%
100,000株以上～500,000株未満	3,701千株	17.57%
500,000株以上	10,213千株	48.50%



2014年9月30日現在

役員紹介

代表取締役社長 野村 弘伸
取締役 水上 康
取締役 渡邊 哲也

取締役 豊田 彰
取締役 玉置 浩一

常勤監査役 大原 茂
監査役 原田 彰好
監査役 飯田 浩之
監査役 井上 龍哉

※取締役 玉置 浩一は、社外取締役です。

※監査役は全員、社外監査役です。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	(1) 定時株主総会、期末配当金 3月31日 (2) 中間配当を行う場合 9月30日 (3) その他必要があるときには、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
公告掲載方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.technohorizon.co.jp (ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

テクノホライゾン・ホールディングス株式会社

〒457-0071
愛知県名古屋南区千電通(チカマトオリ)二丁目13番地1
TEL. 052-823-8551 (代)

